



新潟市 胃内視鏡検診研究
ニュースレター

チューリップ

「チューリップ通信」は
新潟市の胃内視鏡検診の研究に
ご協力いただいている方にお送りしている
ニュースレターです

通信

Vol.8

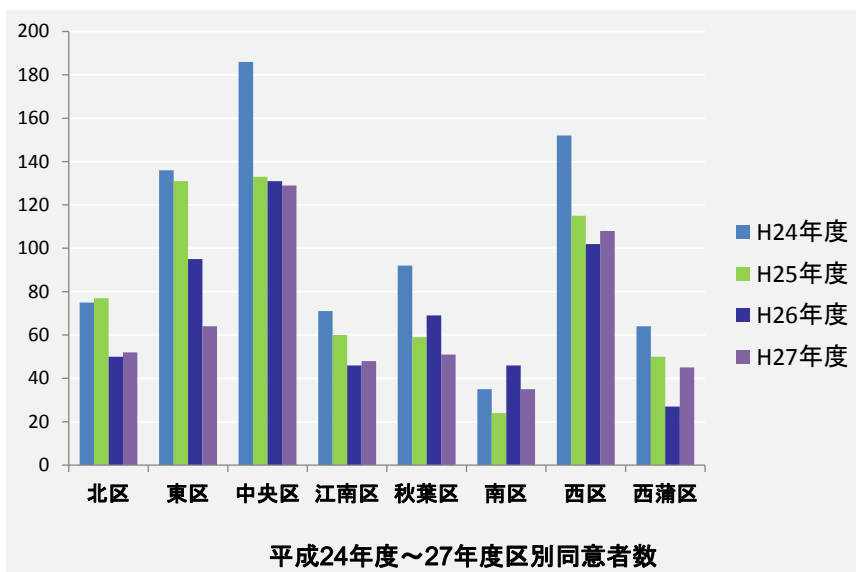
見出し

- * 【胃内視鏡】研究検診報告 ...1-2
- * 【胃内視鏡】Q&A3
- * 【胃内視鏡】お知らせ4
ホームページのご案内
写真募集

【胃内視鏡】研究検診参加者が 2,500 人以上になりました！

平成 24 年度から開始した「胃内視鏡検診の効果を調べる研究」も 4 年目の研究協力者の募集が終了しました。平成 27 年度は、前年度の協力者を上回り、532 人の方にご参加いただきました。平成 28 年度は、2 回目、3 回目の受診予定の方々に検診のご案内をお送りしていますので、ご確認ください。

発行日 2016 年 5 月 2 日
 発行元 胃内視鏡検診
 研究事務局
 所在地 〒950-0914
 新潟市中央区
 紫竹山 3-3-11
 (新潟市医師会内)
 T E L 025-247-8900
 F A X 025-247-8836
 E-mail kenshin@esgcr.jp
 URL <http://www.esgcr.jp/>



【胃内視鏡】2回目、3回目の検診を受けましょう！

本年度は、平成 24 年度よりご参加いただいている昭和 26 年 4 月 1 日から昭和 27 年 3 月 31 日生まれの方が 3 回目、平成 26 年度よりご参加いただいた昭和 28 年 4 月 1 日から昭和 29 年 3 月 31 日生まれの方が 2 回目の検診予定となっています。

初年度に研究検診へご協力いただいた方の中には、一度内視鏡検診を受けたので、もう十分とお考えの方もあり、2 回目、3 回目の検診を受診されない方もいます。しかし、がん検診は 1 回の受診だけでは効果がありません。続けて受診することが、大事です。

では、なぜ継続受診が大事なのでしょう

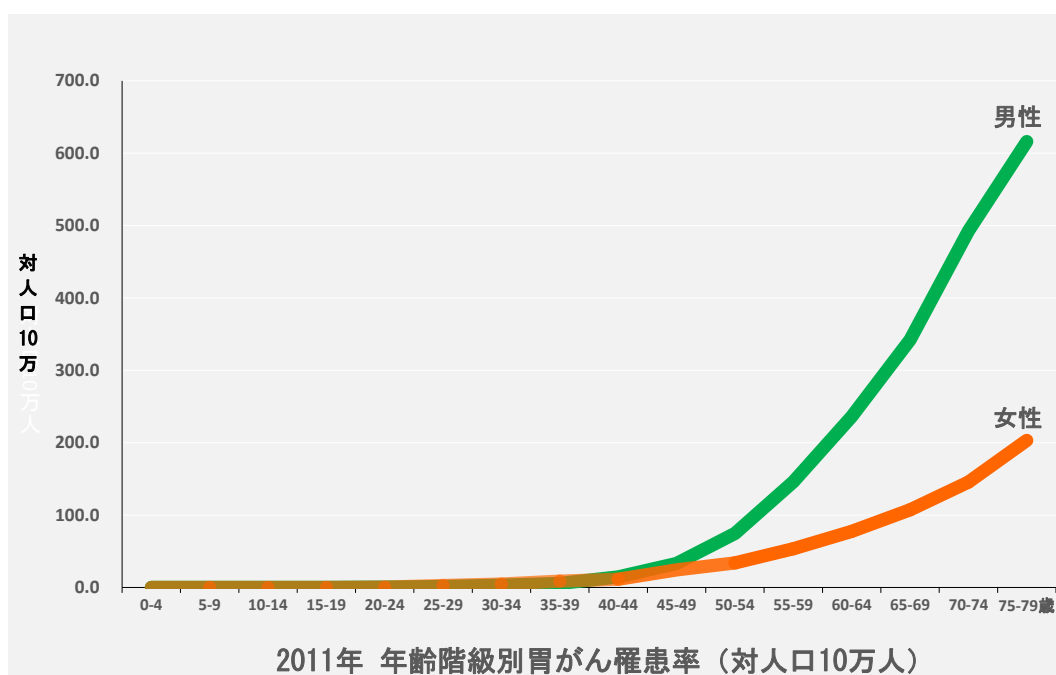
胃がんになる人は 60 歳以降から急激に増加します。この傾向は、男性でも女性でも同じですが、特に男性ではその傾向が顕著です。

内視鏡検査は早期がんを見つけることができますが、やはり目で見て診断できる、ある程度の大きさにならないとつけることはできません。

初回の検査では胃がんがないと判断された場合でも、次回の検診までの 2 年間で徐々に胃がんが成長して、診断できるレベルの大きさになっている可能性があります。

胃がんが日々成長しているのであれば、2 年間待たなくてもより早い段階で頻りに検診を受けたほうがいいのではないかとお考えの方もいるでしょう。

しかし、超早期のがんをいち早く見つけることはいいことばかりではありません。超早期のがんのなかには、命を奪うがんに進展しないものや、いつの間にか消えてしまうものが含まれています。新潟市で行った研究では、3 年間に一度でも内視鏡検査を受けることで、胃がんで死亡する可能性が 30% 減少することがわかっています。このため、本当に命を奪うような胃がんを治療可能な適切な時期に見つけるという観点から、2 年に 1 回の検診受診をお勧めしています。



【胃内視鏡】Q&A

Q1. 1 回目の内視鏡検診が大変でした。2 回目を受ける医療機関を変更することはできますか。

A1. 2 回目以降の内視鏡検診を受診する医療機関の変更は可能です。ご希望の医療機関が内視鏡検診を行っているかどうか、またどちらの医療機関で受診したらいいかなど、胃内視鏡検診研究事務局にご相談ください。

Q2. ピロリ菌検査で陽性になりました。除菌したほうがいいでしょうか。

A2. 除菌によって、胃がん発症を抑制する可能性は高くなりますが、100%抑制できるわけではありません。また、60 歳以上では若年者に比べて、抑制効果も小さい可能性があります。除菌をするかどうかは、かかりつけ医や内視鏡検診の担当医と相談して決めてください。また、胃内視鏡検診研究事務局にご相談いただいても結構です。

Q3. ピロリ菌の除菌をした場合、2 回目以降の内視鏡検診は受けられなくなりますか。

A3. 2 回目、3 回目の内視鏡検診も受けられます。ただし、アンケート調査で除菌したことを申告してください。

Q4. 第 1 回目の研究検診では、血液検査がありました。2 回目、3 回目の内視鏡検診では血液検査は必要ありませんか。

A4. 第 1 回目の研究検診で行った血液検査は、ピロリ菌の感染の有無を見る検査とペプシノゲン検査です。ペプシノゲン検査は胃の粘膜が萎縮しているかどうかを調べています。ピロリ菌に感染すると、胃の粘膜が萎縮し、胃がんが発生するリスクがあるからです。

この 2 つの検査は、ピロリ菌の除菌をしない限り、ほとんど結果は変わりません。このため、2 回目、3 回目の研究検診では血液検査は行いません。

Q5. 内視鏡検診は 2 年に 1 回、案内がきます。毎年受けなくていいのでしょうか。

A5. これまで行われた胃内視鏡検診の研究では、2～3 年に一度でも受診していれば、胃がんで死亡するリスクが減少することがわかっています。このため、2 年に一度の胃内視鏡検診でもリスクを減らすことができます。しかし、なかには急激に成長する胃がんもありますので、何か症状がある場合には、次の検診まで放置せずに、医療機関を受診してください。

Q6. 抗血栓薬（血液をさらさらにするお薬）を飲み始めました。2 回目、3 回目の内視鏡検診を引き続き受けられますか。

A6. 2 回目、3 回目の内視鏡検診は受けられません。内視鏡検診では細胞をとる検査を追加する場合があります。抗血栓薬を服用していると、その後の出血がなかなか止まらない可能性があります。検診の受診はできませんが、予後調査へのご協力をお願いします。なお、チューリップ通信の送付や講演会のご案内は引き続き行います。



【胃内視鏡】お知らせ

ホームページの更新

ホームページの更新が長らく滞っており、皆様にはご迷惑をおかけしました。研究にご協力いただいた初回年度に合わせた情報提供のページを作成しました。本年度の受診のご案内や研究協力者数などの情報を掲載しています。また、これまでお送りしているチューリップ通信についても、第1号から第8号まで、PDFでご覧いただくことができます。

胃内視鏡検診研究ホームページ
<http://www.esgr.jp/>

🌷 チューリップ写真募集

チューリップ満開の季節を迎えています。チューリップ通信では、紙面を飾るチューリップの写真を募集いたします。ご自慢の写真を電子画像（オリジナルを加工した画像も可）、あるいは焼き付け写真にて、メール、郵送等で事務局までお送りください。

採用させていただいた方には、図書カード（500円）を進呈いたします。皆様からのたくさんのご応募をお待ちしております。

なお、採用された作品は紙面に合わせ加工等をさせていただく場合がございます。また、ご応募いただいた作品の返却はいたしません。チューリップ通信掲載以外の目的で使用することはございません。



(前号までの掲載画像)



新潟市在住の方へ
なぜ胃内視鏡検診を行うのか
 ~効果を調べる研究に協力して下さる方へ~

平成28年度より初めて研究検診をお願いする方へ >>> <small>※本研究の方法・主旨などをご覧ください</small>	こちらに該当するのは平成28年度に満61歳となる方です (昭和30年4月1日から昭和31年3月31日生まれの方)
平成27年度より研究検診を受診された方へ >>> <small>※本年(H28年度)の検診はありません</small>	こちらに該当するのは平成27年度に満61歳となった方です (昭和29年4月1日から昭和30年3月31日生まれの方)
平成26年度より研究検診を受診された方へ >>> <small>※2回目の検診のご案内</small>	こちらに該当するのは平成26年度に満61歳となった方です (昭和28年4月1日から昭和29年3月31日生まれの方)
平成25年度より研究検診を受診されている方へ >>> <small>※本年(H28年度)の検診はありません</small>	こちらに該当するのは平成25年度に満61歳となった方です (昭和27年4月1日から昭和28年3月31日生まれの方)
平成24年度より研究検診を受診されている方へ >>> <small>※3回目の検診のご案内</small>	こちらに該当するのは平成24年度に満61歳となった方です (昭和26年4月1日から昭和27年3月31日生まれの方)
自主受診群の方へ >>> <small>※これまでどおり ご自由に住民検診を受けて下さい</small>	こちらに該当するのは平成24年度に満62~65歳となった方です (昭和22年4月1日から昭和26年3月31日生まれの方)

◆ 新着情報

